

# 地域社会との共生

## 関連するマテリアリティ



地域社会と共に

## 取り組み

- 地域社会での生物多様性保全活動や医療・教育等の支援
- 地域社会での防災・災害支援活動
- YOKOHAMAまごころ基金とNPOとの協働

## 基本的な考え方

横浜ゴムグループでは、「横浜ゴムグループ行動指針」において「地域社会との共存共栄を図ります」と宣言し、社会の一員であることを忘れず、社会との共存共栄を図り、ステークホルダーとの信頼関係を構築すること、従業員の社会貢献活動を支援し、従業員が積極的に社会貢献活動に参加する社風を形成することを基本姿勢としています。

グローバルに事業を展開する横浜ゴムグループは、環境や法律、文化、習慣、経済などの面で、地域社会と良好な関係を築くことに努めています。

## YOKOHAMAまごころ基金

従業員によって2016年に設立された「YOKOHAMAまごころ基金」は、基金の趣旨に賛同する従業員（会員）から積立金（毎月100円～の希望額）を集め、社会課題に取り組んでいる団体への支援や、災害発生時の義援金などの寄付を実施しています。寄付は、横浜ゴムからも基金と同額を寄付する「マッチングギフト」という仕組みを採用しています。

2022年12月末現在、加入率は全従業員数の約44%となりました。



## 2022年度支援実績

2022年の支援実績合計は、5,112千円（災害義援金を含む）となりました。

主な支援先は以下の通りです。

- ・特定非営利活動法人 フローレンス
- ・かながわ筋電義手バンク（県立神奈川リハビリテーション病院）
- ・公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン
- ・ウクライナへの人道支援
- ・令和4年3月福島沖地震
- ・令和4年台風15号

## 地域社会の活性化への貢献

### 老君山プロジェクト（中国）への協賛

横浜ゴムグループの中国統括会社である優科豪馬橡膠有限公司（中国）では、2011年から継続的に中国の雲南省麗江市老君山自然保護区内で進めている生態系保護プロジェクト（老君山プロジェクト）の協賛を行っています。老君山は、2003年に世界自然遺産に登録された山岳地帯で、老君山プロジェクトは、これまで自然保護区内の森林伐採でしか生計を立てられなかった村を、「村バンク」を通じた融資などにより農畜産物生産経済へと転換することで、生態系を保護しようという取り組みです。

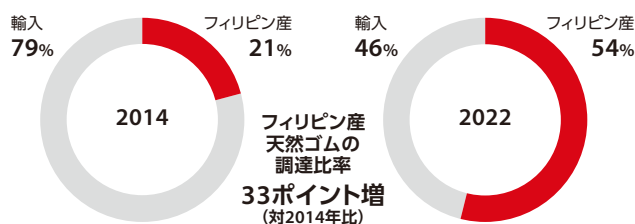


「村バンク」の様子

### 天然ゴムの地産地消を目指すローライゼーションプロジェクト（Yokohama Tire Philippines, Inc. (YTPI)（フィリピン））

フィリピンで乗用車用タイヤ・SUV用タイヤを生産しているYTPIでは、2014年、タイヤ生産に使用する原材料を現地で調達し、フィリピン経済の活性化を目指す「ローライゼーションプロジェクト」を開始しました。プロジェクトの継続的な推進により、2022年には全体の54%がフィリピン産天然ゴムとなっています。

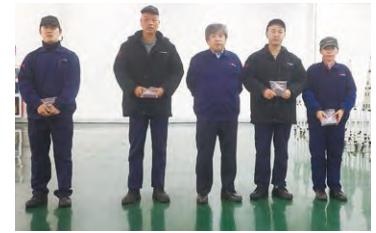
### 天然ゴムの調達割合（フィリピン産・輸入）



### 海外現地法人における多様な人材の活躍推進

杭州横浜ゴム製品有限公司(中国)では、全従業員141名の中で日本人は6名、管理職8名は現地スタッフが担っています。全社員数のうち女性比率は約3割で、出産休暇なども必要に応じて取得ができる仕組みがあります。課長以上の女性管理職も5割弱となっており、男女の分け隔てなく平等に昇格昇進の機会があります。採用においても杭州地区の方々を対象に広く募集

しており、採用の機会を均等に設けるとともに、社内の昇進昇格についても男女、出身地区の差別なく公正に行っています。



10年勤続社員表彰の様子(杭州横浜ゴム製品有限公司)

## 次世代育成支援

### 三重工場での環境教育の実施

三重工場では、当社社員が地元小学校を訪問したり工場に招いたりして環境授業を行っています。植樹の意義を紙芝居を用いて説明したり、外来植物のコマツヨイグサの抜根大会を開催したりなど、楽しみながら自然と環境に対する意識が高まるような取り組みを行っています。また、児童たちと共に海岸ゴミを清掃するなど、環境教育を通じた地域の環境保全活動にも力を入れています。

2022年2月に生物多様性に配慮した工場として「いきもの共生事業所認証®(ABINC認証)」を取得しました。



小学生を招いてのピオトープでの生き物観察会

### 学校への教育支援

横浜ゴムのインドにおけるタイヤ製造子会社 ATCTires Pvt. Ltd. Tirunelveli Plant (ATG-TN) では、複数の学校のインフラ整備やデジタル教育の支援を行っています。

また、横浜ゴムの中国におけるタイヤの製造・販売子会社の蘇州優科豪馬輪胎有限公司(CSZY)(中国)では、環境保護ウインターキャンプを開催しました。小学校の子どもと家族が参加し、「森を守る、紙を節約」の授業、種拾い、野鳥観察を行いました。子どもたちが環境知識を身につけて、環境意識を高めることを目指しています。



インドでの小学校への教育支援

## 災害復興支援

### 日本カーシェアリング協会へタイヤを寄贈

横浜ゴムは災害復興支援の一環として、乗用車用タイヤ計200本を一般社団法人日本カーシェアリング協会に寄贈しました。寄贈タイヤは、4月および11月に宮城県石巻市にある石巻専修大学で授業の一環として開催された「学生整備プロジェクト」において、被災地などでカーシェアリングやリースに利用される車両へ装着されました。

日本カーシェアリング協会は、仮設住宅や復興住宅などでの

非営利のカーシェアリング、地域振興のための車両貸し出しを行っています。また、自然災害によって車を失ってしまった方々へ車を一定期間無料で貸し出す生活再建支援も行っています。横浜ゴムは、同協会の活動に賛同し、乗用車用タイヤを寄贈する活動を2015年から行っています。



当社の乗用車用タイヤを装着する石巻専修大学の学生

## 今後の課題と対応策

海外拠点での操業拡大に伴い、新たな横浜ゴムグループ従業員に対する「行動指針」の浸透が課題となっています。また、事業活動に伴う経済的効果に加え、地域が抱える社会課題の解決に向けて、連携して活動ができる体制の構築も課題です。この

課題解決のため、ウィズコロナの新しい生活様式においても実施できるボランティア活動やYOKOHAMAまごころ基金を通じた活動を推進していきます。